様式４－２

車両系建設機械（基礎工事用）運転技能講習受講申込書

写真

縦30×横24㎜
2枚裏面に氏名を記入し
てｸﾘｯﾌﾟで留める

（6ヶ月以内撮影）

ふ り が な		捺印または署名	受講者番号
受 講 者 氏 名		㊞	
生年月日及び年齢	年　月　日（　歳）	助 成 金	給 付 金
現 住 所	〒		
	携帯　－　－	TEL　－　－	FAX　－　－
連 絡 先（勤 務 先）	会社名	担当者	
	所在地	〒	
	TEL　－　－	FAX　－　－	
受講コース	時間コース	受講希望日	年　月　日 ～　年　月　日

コース		所持する免許、資格等（いずれか１つに○）
39H		免除資格を持っていない方
25H		自動車運転免許（普通・準中型・中型・大型）を持ち、特別教育修了後, 車両系建設機械（整地等、解体、基礎工事３ﾄﾝ未満）の運転経験が３ケ月以上の方
		大型特殊自動車運転免許をお持ちの方
		車両系建設機械（整地等）運転技能講習修了者
		〃　（解体用）　〃
		不整地運搬車運転技能講習修了者
		建設機械施工技術検定合格者（条件有）
10H		移動式クレーン運転士免許をお持ちの方

運転自動車免許証	交付年月日　年　月　日 交付公安委員会名 免許証番号
または運転士免許修了証	交付年月日　年　月　日 交付局または交付登録教習機関名 資格証番号

当教習所交付の修了証	有 ・ 無　（種類）
受講料支払方法	支払日　月　日　振込 ・ 現金　（領収証宛名　）

機械の運転業務経験及び証明欄（２５Ｈの特別教育修了者は記入して下さい。）

主に使用している機械の運転業務経験	製造会社名	証明欄	記載の経験は事実に相違ないことを証明します。 年　月　日
	型式		住　所
	製造番号		事業所名
	機械名称		代 表 者　印
	機体質量　kg		
	運転経験期間　年　月　日 ～　年　月　日（　年　ヶ月）		

申込書に添付するもの	（１）本人確認書類〔下記のいずれか1つの写し〕 ※ 原本は受講時に持参ください。 ・自動車運転免許証　・マイナンバーカード（裏面不要）　・パスポート　等 ・外国籍の方は在留カード(写し)と外国人の受講申込確認書(原紙) （２）免除資格証(免許証、修了証)の写し　＊ 特別教育実施証明書は原紙　※ 免許証、修了証は受講時に持参ください。 （３）写真２枚（縦30ﾐﾘ×横24ﾐﾘ ６ヵ月以内撮影のもの）

注意事項

・申込書は両面印刷をしないで下さい。
・申込書の太枠内を黒色ボールペンで記入し原本を提出して下さい。
・事業者の証明が必要な方は証明欄に押印をして下さい。
・誤記入は取消線で訂正の上、訂正印を押印して下さい。
（修正テープ、修正インクは使用しないで下さい）
・修了証は講習の定められた時間数（欠席・遅刻・早退が無い事）を受講し、修了試験に合格しないと交付されません。
・修了証に旧姓を使用した氏名又は通称名の併記をご希望の方は、氏名欄に括弧書きで旧姓又は通称名も記入ならびに旧姓又は通称名記載の住民票等の添付をして下さい。

お客様各位

当社は個人情報を以下の目的で利用させて頂きます。
ご同意頂けない場合は、申込時にお申し出下さい。

① 申込書の内容確認、受講資格、受講票送付、受講確認及び合否連絡
② 受講料入金確認、講習案内の送付、アンケートの実施
③ 再交付・書替・助成金・受講証明・資料請求・指定保存交付機関へ受講記録の提出等に使用

・受講直前のキャンセルはキャンセル料を申し受けます。

受講者は、次の事項を確約する。

・受講者は、自ら及びその所属する法人その他の団体の代表者、責任者又は実質的に経営権を有する者が、暴力団員、暴力団員でなくなった日から５年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標榜ゴロ又は特殊知能暴力集団その他の反社会的勢力(以下「暴力団等」という)ではなく、暴力団等との不適切な関係を有しないことを誓約します。また、暴力団等であることが判明した場合、暴力団等との不適切な関係を有することが判明した場合又は自ら若しくは第三者を利用して、暴力的要求、不当な要求、詐術、暴力的若しくは脅迫的な言動、名誉・信用の毀損、業務妨害などの行為をした場合は、一方的に解約されても異議申立を行わず、発生した一切の損害を自ら負担します。

・記載事項に虚偽などがある場合、受講後でも法律に基づく処罰があっても異議を申し立てません。
・受講開始日以降に変更及びキャンセルをした場合でも、返金請求は致しません。

日本車輌製造株式会社　技術教習所　殿

実施管理者	資格確認	収納確認	受付担当	修了証番号	
				交付年月日	
				受付年月日	

[記入例]

太枠内をご記入下さい。

修了証に旧姓を使用した氏名又は通称名の併記をご希望の方は、旧姓又は通称名を括弧書きで記入して下さい。
＊旧姓又は通称名記載の住民票等の添付が必要です。

写真
6ヶ月以内撮影
縦30×横24㎜
2枚裏面に氏名を記入してｸﾘｯﾌﾟで留める

車両系建設機械（基礎工事用）運転技能講習受講申込書

ふりがな	きょうしゅう　こうたろう　（にっしゃ　こうたろう）	捺印または署名	受講者番号
受講者氏名	教習　幸太郎　（日車　幸太郎）	教習 または 教習 幸太郎	

生年月日及び年齢	平成　〇〇　年　1　月　2　日　（　△△　歳　）	助成金	給付金

助成金（法人負担）または給付金（個人負担）申請希望の方は〇印をお願いします。申請には条件があります。

現住所	〒475-△△△△ 愛知県半田市〇〇町△△番地		
	携帯　090－1234－〇〇〇〇	TEL　0569－22－	

連絡先（勤務先）	会社名	〇〇〇〇製造（株）　技術教習所	担当者　教習 幸子
	所在地	愛知県半田市十一号地２０番２	
	TEL　0569－22－〇〇〇〇	FAX　0569－22－△△△△	

受講申込が法人の場合はご担当者の部署及びお名前を記入して下さい。個人の場合は記入不要です。

受講コース	25　時間コース	受講希望日	令和 5 年 1 月 10 日 ～ 令和 5 年 1 月 13 日

コース		所持する免許、資格等（いずれか１つに〇）
39H		免除資格を持っていない方
25H	〇	自動車運転免許（普通・準中型・中型・大型）を持ち、特別教育修了後，車両系建設機械（整地等、解体、基礎工事３㌧未満）の運転経験が３ヶ月以上の方
		大型特殊自動車運転免許をお持ちの方
		車両系建設機械（整地等）運転技能講習修了者
		〃　（解体用）　〃
		不整地運搬車運転技能講習修了者
		建設機械施工技術検定合格者（条件有）
10H		移動式クレーン運転士免許をお持ちの方

運転自動車免許証
- 交付年月日：平成 30 年 1 月 10 日
- 交付公安委員会名：愛知県公安委員会
- 免許証番号：123456789012

運転または士修了免許証
- 交付年月日：令和 4 年 6 月 1 日
- 交付局または交付登録教習機関名：〇〇〇〇　技術教習所
- 資格証番号：1234567

当教習所交付の修了証	有 ・ 無	（種類）	玉掛け技能講習	
受講料支払方法	支払日　12 月　15 日	振込 ・ 現金	（領収証宛名	〇〇〇〇製造㈱　）

領収証が必要な場合は宛先名を記入して下さい。

機械の運転業務経験及び証明欄（２５Ｈの特別教育修了者は記入して下さい。）

主に使用している機械の運転業務経験

製造会社名	日本車輌製造㈱
型式	DH30
製造番号	123456
機械名称	油圧ショベル
機体質量	2980 kg
運転経験期間	令和 4 年 6 月 10 日 ～ 令和 4 年 12 月 9 日 （　年　6ヶ月）

特別教育修了者のみ。正確に記入して下さい。認印での訂正は出来ません。

証明欄

記載の経験は事実に相違ないことを証明します。

令和 4 年 12 月 10 日

住所　愛知県半田市十一号地２０番２

事業所名　〇〇〇〇製造株式会社 技術教習所

代表者　代表取締役　□□　□□

〇〇〇〇製造株式会社技術教習所

社印又は代表印を押印して下さい。

特別教育終了後の

申込書に添付するもの

（１）本人確認書類〔下記のいずれか1つの写し〕 ※ 原本は受講時に持参ください。
・自動車運転免許証　・マイナンバーカード（裏面不要）　・パスポート　等
・外国籍の方は在留カード（写し）と外国人の受講申込確認書（原紙）
（２）免除資格証（免許証、修了証）の写し　＊ 特別教育実施証明書は原紙　※ 免許証、修了証は受講時に持参ください。
（３）写真２枚（縦30㍉×横24㍉ ６ヵ月以内撮影のもの）

注意事項

- 申込書は両面印刷をしないで下さい。
- 申込書の太枠内を黒色ボールペンで記入し原本を提出して下さい。
- 事業者の証明が必要な方は証明欄に押印をして下さい。
- 誤記入は取消線で訂正の上、訂正印を押印して下さい。（修正テープ、修正インクは使用しないで下さい）
- 修了証は講習の定められた時間数（欠席・遅刻・早退が無い事）を受講し、修了試験に合格しないと交付されません。
- 修了証に旧姓を使用した氏名又は通称名の併記をご希望の方は、氏名欄に括弧書きで旧姓又は通称名も記入ならびに旧姓又は通称名記載の住民票等の添付をして下さい。

お客様各位

当社は個人情報を以下の目的で利用させて頂きます。
ご同意頂けない場合は、申込時にお申し出下さい。

① 申込書の内容確認、受講資格、受講票送付、受講確認及び合否連絡
② 受講料入金確認、講習案内の送付、アンケートの実施
③ 再交付・書替・助成金・受講証明・資料請求・指定保存交付機関へ受講記録の提出等に使用

・受講直前のキャンセルはキャンセル料を申し受けます。

受講者は、次の事項を確約する。

・受講者は、自ら及びその所属する法人その他の団体の代表者、責任者又は実質的に経営権を有する者が、暴力団員、暴力団員でなくなった日から５年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標榜ゴロ又は特殊知能暴力集団その他の反社会的勢力（以下「暴力団等」という）ではなく、暴力団等との不適切な関係を有しないことを誓約します。また、暴力団等であることが判明した場合、暴力団等との不適切な関係を有することが判明した場合又は自ら若しくは第三者を利用して、暴力的要求、不当な要求、詐術、暴力的若しくは脅迫的な言動、名誉・信用の毀損、業務妨害などの行為をした場合は、一方的に解約されても異議申立を行わず、発生した一切の損害を自ら負担します。

・記載事項に虚偽などがある場合、受講後でも法律に基づく処罰があっても異議を申し立てません。

・受講開始日以降に変更及びキャンセルをした場合でも、返金請求は致しません。

日本車輌製造株式会社　技術教習所　殿

実施管理者	資格確認	収納確認	受付担当	修了証番号	
				交付年月日	
				受付年月日	

特 別 教 育 実 施 証 明 書

小型車両系建設機械（整地・運搬・積込み・掘削・解体・基礎工事3ﾄﾝ未満）

（注意）受講申込書に大型特殊免許証、技能講習修了証（整地等、解体用、不整地運搬車）又は特別教育修了証のコピーを添付いただいた場合は記入の必要がありません。

下記のように労働安全衛生法第59条第3項の規定に基づき機体重量3t未満の小型車両系建設機械の特別教育を修了したことを証明します。

フリガナ		生年月日	年　月　日生	
受講者氏名				
実施場所	会社名			
	所在地			
実施年月日	年　月　日 ～ 年　月　日	受講人数	名	

実施内容		教育科目	教育時間	担当講師名
	学科	1. 小型車両系建設機械の走行に関する装置の構造・取扱い	3時間	
		2. 小型車両系建設機械の作業に関する装置の構造・取扱い	2時間	
		3. 小型車両系建設機械の運転に必要な一般的事項に関する知識	1時間	
		4. 関係法令	1時間	
	実技	1. 小型車両系建設機械の走行操作	4時間	
		2. 小型車両系建設機械の作業の為の装置の操作	2時間	

使用機械（小型車両系）		
	製造会社名	
	型式・製造番号	
	機械名称	
	機体重量又最大積載量	

年　月　日

会社名

住　所　　社印

代表者

記載事項に虚偽等が有る場合は、受講後といえども法律に基づく処罰があっても意義申し立ては致しません。

愛知労働局登録教習機関
日本車輌製造株式会社
建設機械本部　技術教習所所長　殿

記入例

特 別 教 育 実 施 証 明 書

小型車両系建設機械（整地・運搬・積込み・掘削・解体・基礎工事3ﾄﾝ未満）

（注意）受講申込書に大型特殊免許証、技能講習修了証（整地等、解体用、不整地運搬車）又は特別教育修了証のコピーを添付いただいた場合は記入の必要がありません。

下記のように労働安全衛生法第59条第3項の規定に基づき機体重量3t未満の小型車両系建設機械の特別教育を修了したことを証明します。

フリガナ	キョウシュウ　コウタロウ	生年月日	平成　1　年　2　月　3　日生
受講者氏名	教習　幸太郎		

実施場所	会社名	○○○○製造株式会社
	所在地	愛知県半田市十一号地20番2

実施年月日	令和 4 年 6 月 1 日 ～ 令和 4 年 6 月 2 日	受講人数	XX 名

実施内容		教育科目	教育時間	担当講師名
	学科	1. 小型車両系建設機械の走行に関する装置の構造・取扱い	3時間	日本　二郎
		2. 小型車両系建設機械の作業に関する装置の構造・取扱い	2時間	日本　二郎
		3. 小型車両系建設機械の運転に必要な一般的事項に関する知識	1時間	日本　二郎
		4. 関係法令	1時間	日本　二郎
	実技	1. 小型車両系建設機械の走行操作	4時間	日本　二郎
		2. 小型車両系建設機械の作業の為の装置の操作	2時間	日本　二郎

使用機械（小型車両系）	製造会社名	日本車輌製造（株）
	型式・機械番号	DH30 ・ 123456
	機械名称	油圧ショベル
	機体重量又最大積載量	2980kg

令和　OO 年　OO 月　OO 日

会社名　○○○○製造株式会社　技術教習所

住　所　愛知県半田市十一号地20番2

代表者　□□　□□

○○○○製造株式会社技術教習所　社印

認印ではなく、社印もしくは代表印で捺印ください。

記載事項に虚偽等が有る場合は、受講後といえども法律に基づく処罰があっても意義申し立ては致しません。

愛知労働局登録教習機関
日本車輌製造株式会社
建設機械本部　技術教習所所長　殿